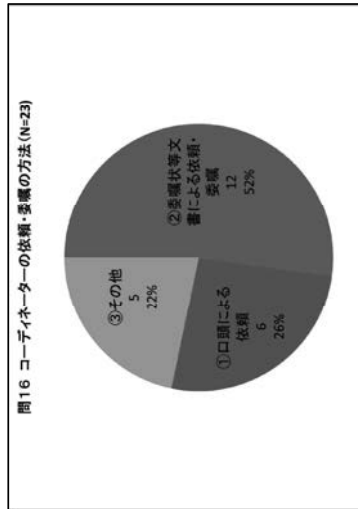


問 15 コーディネーター候補者の発掘方法

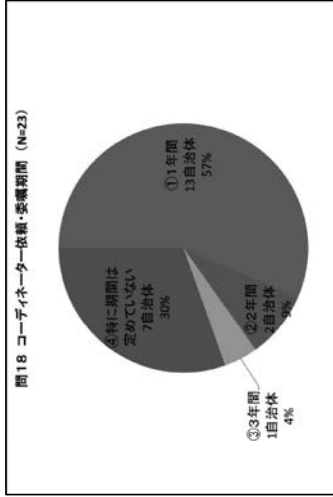
[複数回答：該当するものすべて選択] (N=23)

	自治体数
①各学校(校長等)から推薦	20
②現コーディネーターから推薦	9
③PTA役員や日頃付き合いのある地域住民から推薦	8
④学校運営協議会委員、学校評議員等学校と関係のある地域住民から推薦	6
⑤社会教育委員・青少年委員等行政委嘱委員経験者から推薦	4
⑥その他	2

問 16 コーディネーターの依頼・委嘱方法 (N=23)



問 18 コーディネーターの依頼・委嘱期間 (N=23)

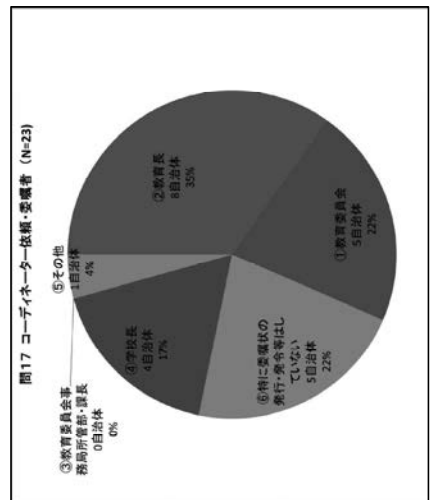


問 19 コーディネーターの自主的な組織や活動状況

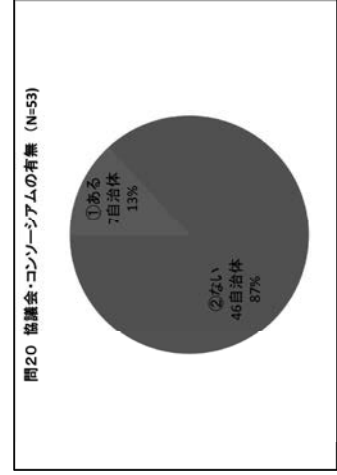
[複数回答：該当するものすべて選択] (N=23)

項目	自治体数
①連絡会を実施	5
②交流会を実施	4
③研修会を実施	3
⑤メール・リストやSNS等ITを活用した情報交換	2
④ニュースレター等会報や広報紙の発行	1
⑥その他	4
⑦把握していない	10

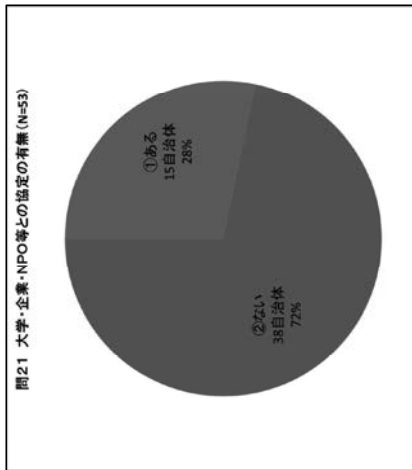
問 17 コーディネーターの依頼・委嘱者 (N=23)



問 20 企業・大学・NPO・行政機関等の構成による協議会やコンソーシアムの有無 (N=53)



問 21 大学や企業・NPO等との協定等締結の有無 (N=53)



問 23 学校支援の取組を充実・定着させていくために、今後必要と考える取組 (N=53)

【複数回答：該当する主なもの3つまで選択】 (N=53)

充実・定着のために必要と考える取組	全体	学ボラ実施地区	其他地区
②行政内における体制整備の充実	24	6	18
⑦学校教職員の理解の促進	19	14	5
⑫参考となる事例情報やノウハウ・ツールの収集・提供の充実	14	7	7
⑬学校・地域・行政等関係者の学校支援活動の主旨等の共有化の促進	13	5	8
⑤行政としての学校へのサポートの充実	12	4	8
①行政における学校支援に関する計画や方針等の策定	11	2	9
⑨学校における学校支援活動の方針や位置づけの明確化	11	4	7
④行政としてのコーディネーターの位置づけ・役割の明確化	10	2	8
⑧学校における受入体制の確立の促進	10	4	6
③行政によるコーディネーターへのサポートの充実	9	9	0
⑥行政による地域人材等（ボランティア）へのサポートの充実	7	2	5
⑩コーディネーターと学校の連携・意思疎通の促進	6	5	1
⑪コーディネーターの資質向上	3	2	1
⑭その他	3	1	2
⑮特に必要となる取組はない	0	0	0

問 22 学校支援の取組を導入したねらい及び現時点での導入した成果・効果 (N=53)

【複数回答：該当する主なもの3つまで選択】 (N=53)

学校支援の取組導入当初のねらい	小学校	中学校	小学校	中学校
⑨ 学校と地域の連携が深まり、交流の機会が増える	29	28	30	26
⑦ 地域人材等（ボランティア）等地域の学校・子供に対する関心が高まり、協力が増える	26	24	26	25
⑤ 教員が授業や生徒指導などにより力を注ぐことができる	18	21	18	13
③ 子供たちの授業に対する興味・関心が高まり学力向上につながる	20	18	13	17
⑤ 子供たちの地域に対する興味・関心が高まる	16	11	15	12
⑩ 地域のきずなが深まり、地域が活性化する	9	7	7	9
② 子供たちの生活リズムや授業態度の向上につながる	7	6	7	4
① 子供たちの読書意識、コミュニケーション能力の向上につながる	6	4	5	3
⑧ 地域人材等（ボランティア）自身の生きがいや自己実現につながる	6	3	2	3
④ 子供たちの体力向上につながる	2	6	4	1
⑪ その他	2	2	2	2
⑫ まだ効果を認めていない			2	3

問 24 現在、学校支援に取り組んでいない主な理由 (N=9)

